

7. アンケート

Questionnaire

【1】 教職員対象アンケート

1. 【本学教職員対象】弘前大学COC事業に関するアンケートについて 回答結果

【実施期間】 平成28年4月12日(火)～平成28年4月28日(木)

【対象】 弘前大学教員634名・職員298名 計932名

(いずれも非常勤職員を除く)※附属病院・附属学校教職員は対象外

【回答者数】 教員349名 職員256名 計605名

【質問1】 身分をお答えください。

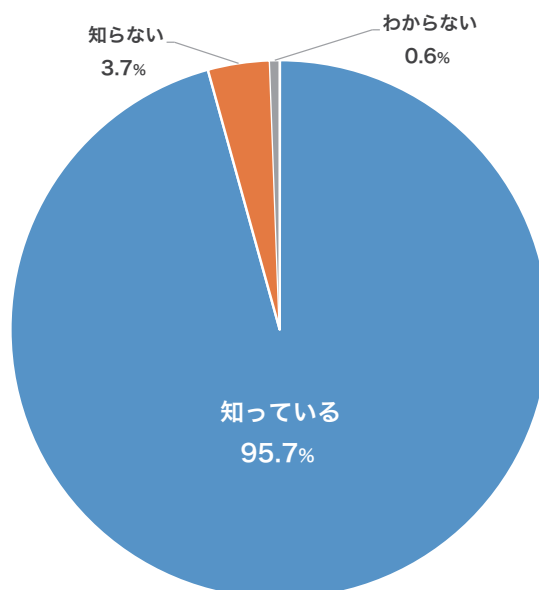
身分	対象者数	回答者数	割合
教員（非常勤を除く）	634	349	55.0%
教員以外の職員（非常勤を除く）	298	256	85.9%
合計	932	605	64.9%

【質問2】 弘前大学が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。

■ 教員

選択肢	回答数	割合
知っている	334	95.7%
知らない	13	3.7%
わからない	2	0.6%
合計	349	

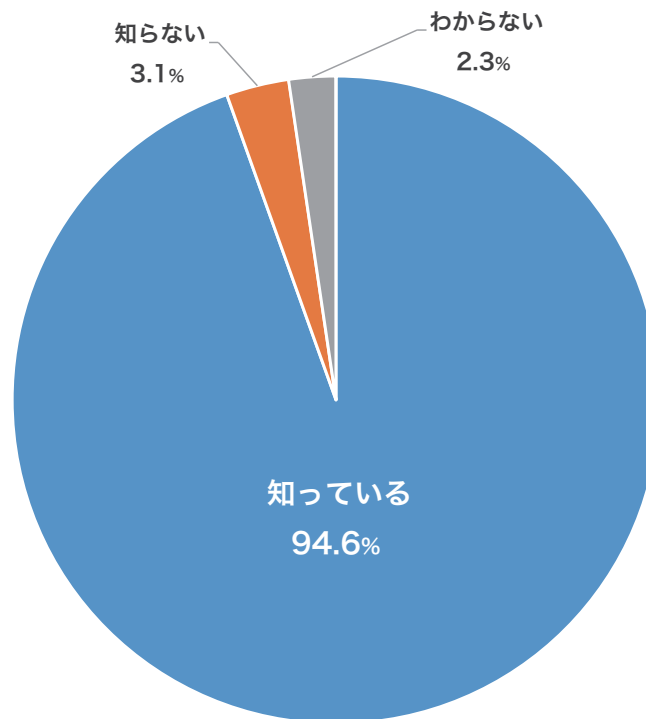
【質問2】 弘前大学が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。



■ 教員以外の職員

選択肢	回答数	割合
知っている	242	94.6%
知らない	8	3.1%
わからない	6	2.3%
合計	256	

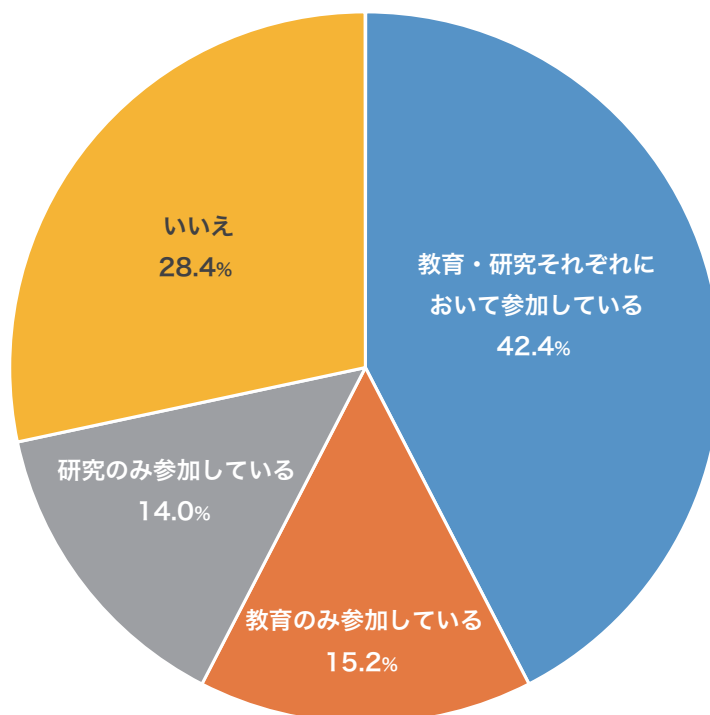
【質問2】 弘前大学が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。



【質問3】 「地域のための大学」として、地域を志向した教育・研究に参加していますか。
 (教員のみ回答)

選択肢	回答数	割合
教育・研究それぞれにおいて参加している	148	42.4%
教育のみ参加している	53	15.2%
研究のみ参加している	49	14.0%
いいえ	99	28.4%
合計	349	

【質問3】 「地域のための大学」として、地域を志向した教育・研究に参加していますか。



【2】 学生対象アンケート

1. 【本学学生・大学院生対象】弘前大学COC事業に関するアンケートについて 回答結果

【実施期間】 平成28年4月8日(金)～平成28年4月21日(木)

【対 象】 弘前大学に在籍する学部生・大学院生 計6,901名

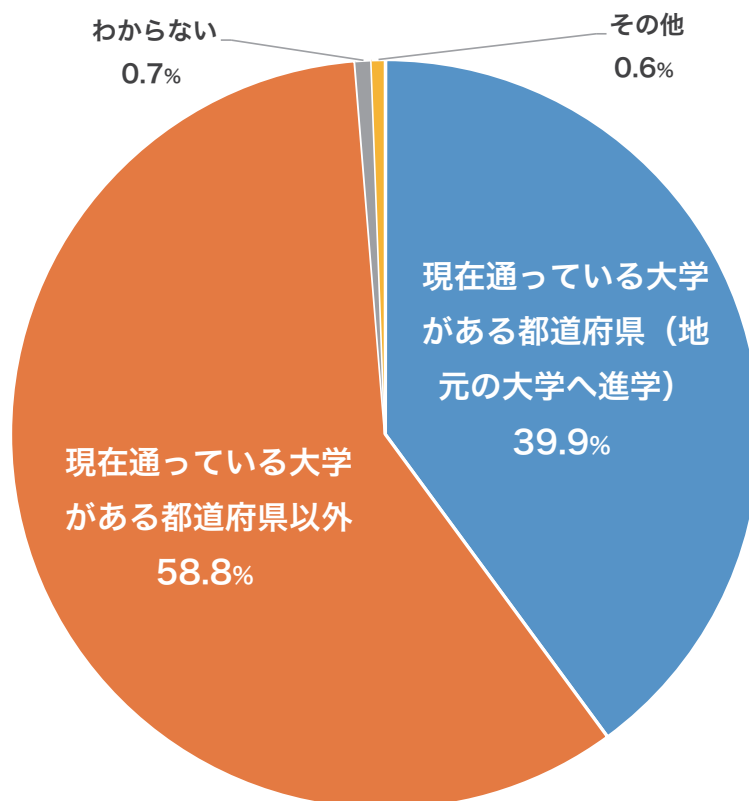
【回答者数】 2,396名 (全学部生・大学院生の34.7%)

【質問1】 あなたの出身(出生地)について、当てはまるもの1つを選んでください。

(回答数 2,396名)

選択肢	回答数	割合
現在通っている大学がある都道府県 (地元の大学へ進学)	956	39.9%
現在通っている大学がある都道府県以外	1,408	58.8%
わからない	18	0.7%
その他	14	0.6%
合 計	2,396	

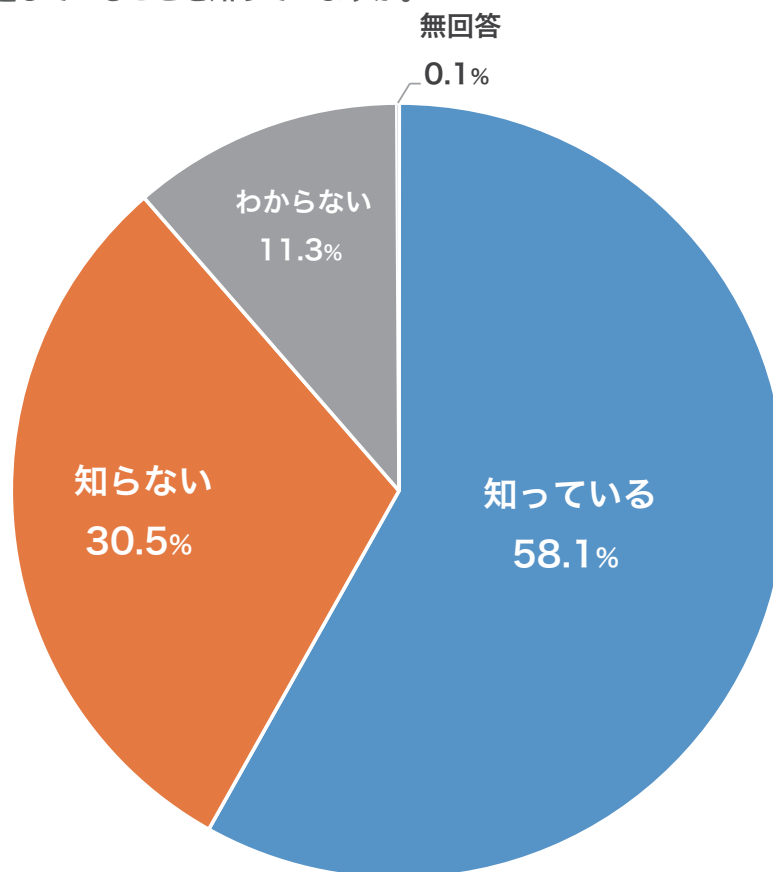
【質問1】 あなたの出身 (出生地) について、当てはまるもの1つを選んでください。



【質問2】 弘前大学が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。（回答数 2,394名 無回答2名）

選択肢	回答数	割合
知っている	1,393	58.1%
知らない	730	30.5%
わからない	271	11.3%
無回答	2	0.1%
合計	2,396	

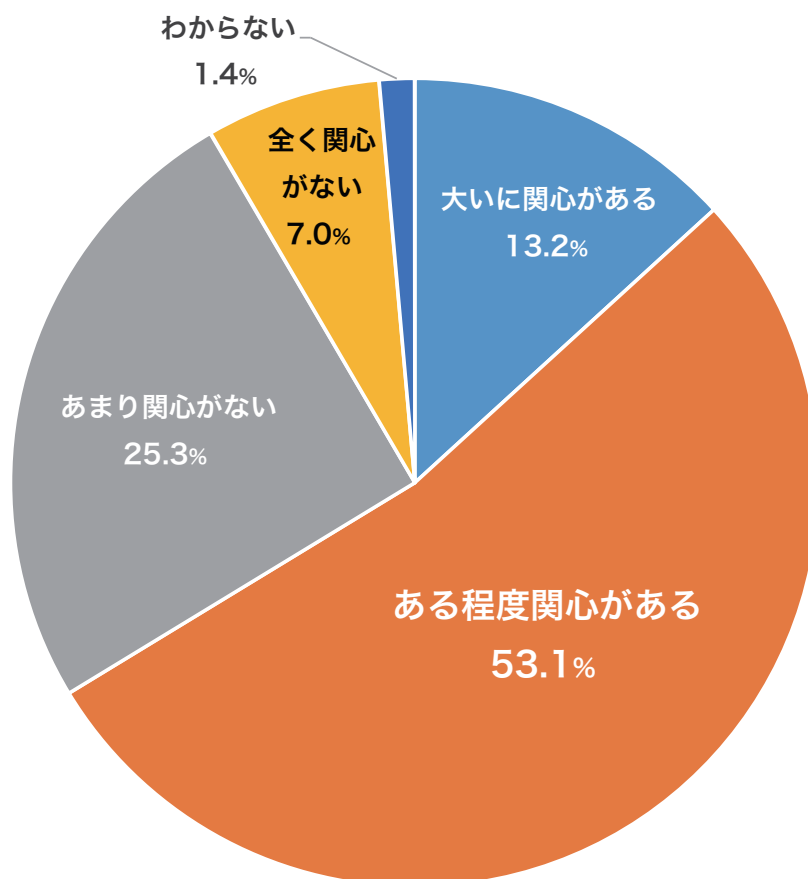
【質問2】 弘前大学が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。



【質問3】 青森県の歴史や伝統、自然、経済等について関心がありますか？
 (回答数 2,396名)

選択肢	回答数	割合
大いに関心がある	317	13.2%
ある程度関心がある	1,271	53.1%
あまり関心がない	606	25.3%
全く関心がない	168	7.0%
わからない	34	1.4%
合計	2,396	

【質問3】 青森県の歴史や伝統、自然、経済等について関心がありますか？

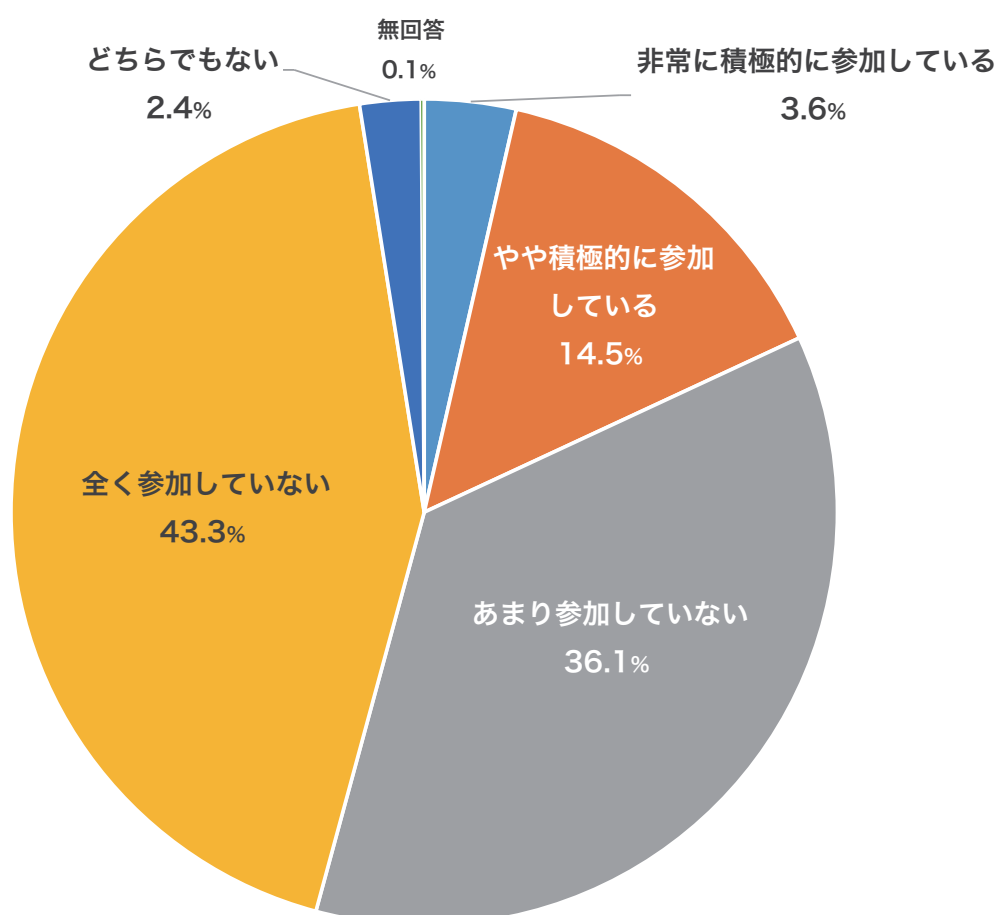


【質問4】 入学後、地域活動にどの程度積極的に参加していますか。

(回答数 2,393名 無回答3名)

選択肢	回答数	割合
非常に積極的に参加している	86	3.6%
やや積極的に参加している	347	14.5%
あまり参加していない	866	36.1%
全く参加していない	1,037	43.3%
どちらでもない	57	2.4%
無回答	3	0.1%
合計	2,396	

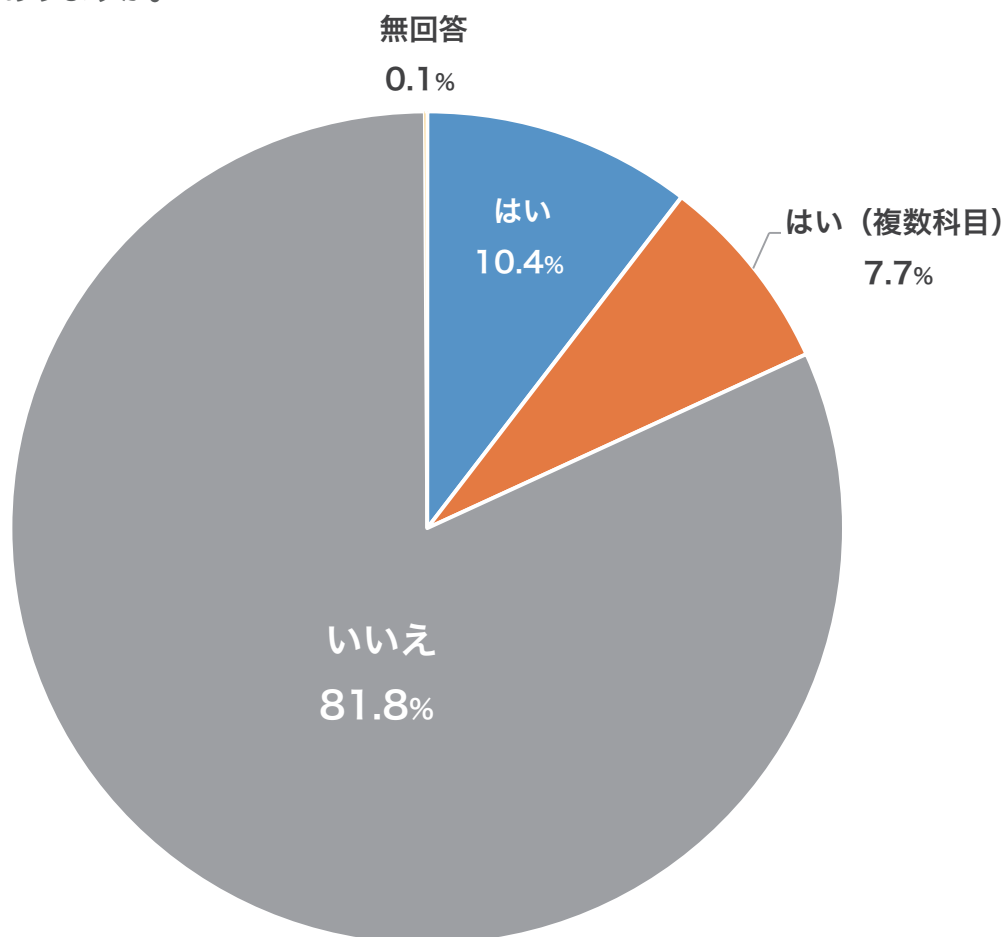
【質問4】 入学後、地域活動にどの程度積極的に参加していますか。



【質問5】 弘前大学が、「地域のための大学」として実施する授業科目を受講したことがありますか。
 (回答数 2,395名 無回答1名)

選択肢	回答数	割合
はい	250	10.4%
はい (複数科目)	185	7.7%
いいえ	1,960	81.8%
無回答	1	0.1%
合計	2,396	

【質問5】 弘前大学が、「地域のための大学」として実施する授業科目を受講したことがありますか。

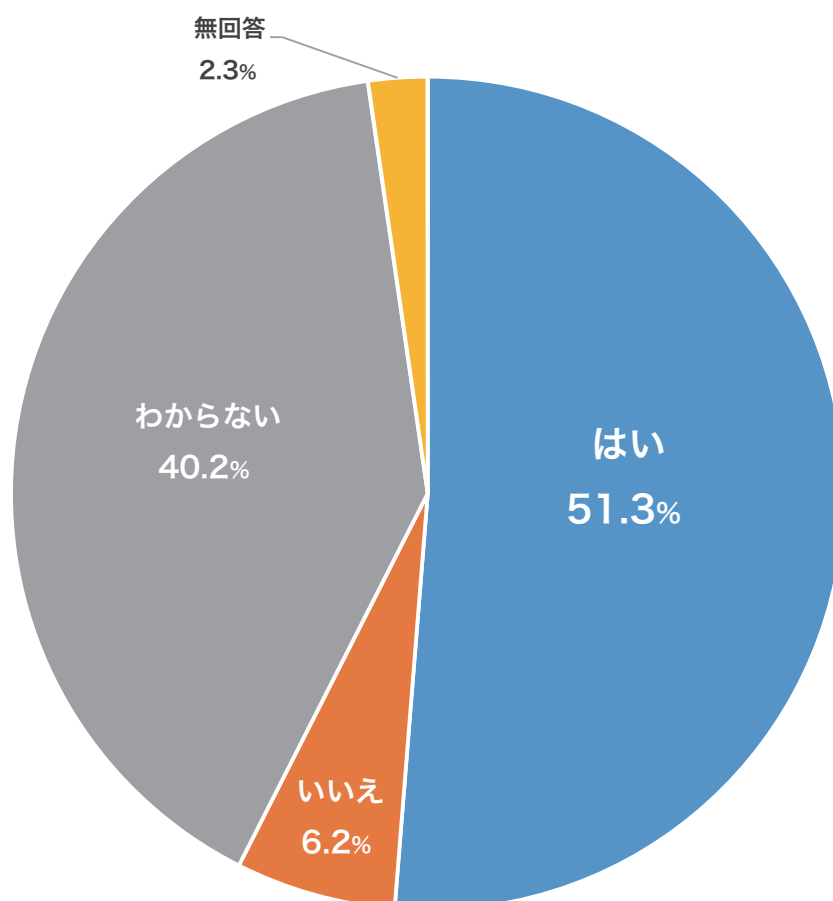


【質問6】 ※質問5で“はい”を選択した場合のみ回答

上記科目を受講した結果、課題を含めた地域の現状を把握するとともに、地域の課題解決に役立つ知識・理解・能力は深まりましたか。（回答数 425名 無回答 10名）

選択肢	回答数	割合
はい	223	51.3%
いいえ	27	6.2%
わからない	175	40.2%
無回答	10	2.3%
合計	435	

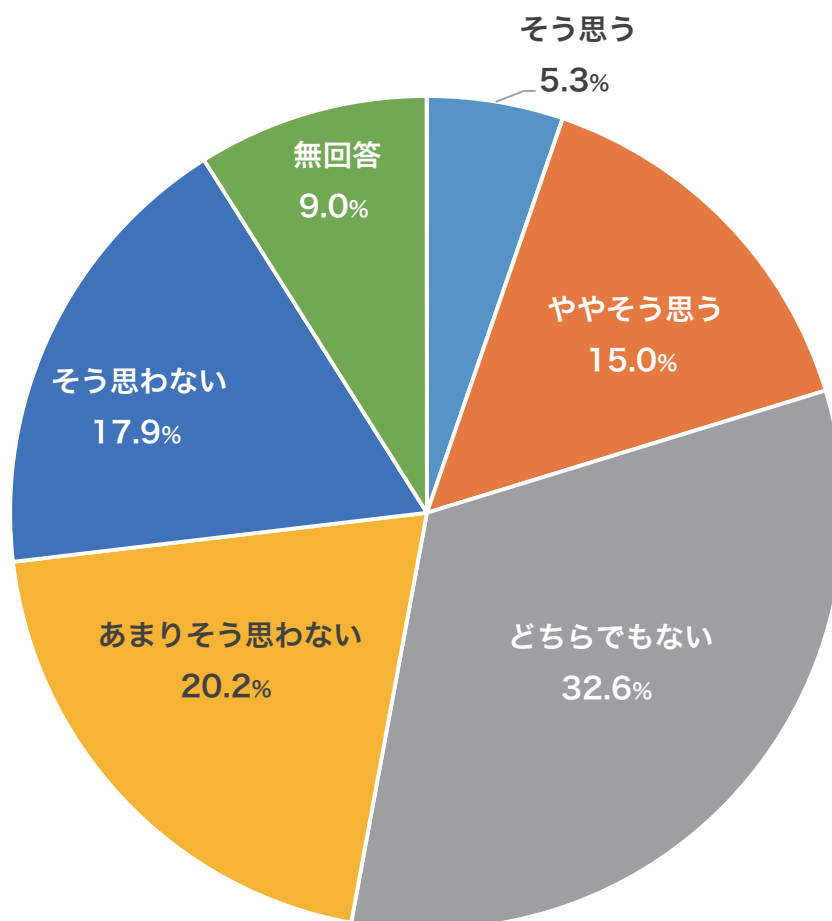
【質問6】 上記科目を受講した結果、課題を含めた地域の現状を把握するとともに、地域の課題解決に役立つ知識・理解・能力は深まりましたか。



【質問7】 ※質問5で“はい”を選択した場合のみ回答
 上記科目の受講が、青森県の企業や自治体等に就職しようとするきっかけになりましたか。（回答数 396名 無回答 39名）

選択肢	回答数	割合
そう思う	23	5.3%
ややそう思う	65	15.0%
どちらでもない	142	32.6%
あまりそう思わない	88	20.2%
そう思わない	78	17.9%
無回答	39	9.0%
合計	435	

【質問7】 上記科目の受講が、青森県の企業や自治体等に就職しようとする
 きっかけになりましたか。



【質問8】 ※質問5で“はい”を選択した場合のみ回答

その知識・理解・能力を今後どのように活かしていきたいと思えますか。

(自由記述 回答数 213名)

(抜粋)

- ここ青森県で得た知識を、ほかの県に行って仕事するときに活かしていきたい。
- 医学部で学んでいく中で、実習先で地域の方と会話をするうえで、地域に関する理解が役に立つと思う。
- 火山や地震が発生したとき、学んだ知識を活かして迅速な行動をとりたい。
- 元から青森県で働いて地域に貢献する仕事がしたいと考えていたので、それに活かしたい。
- 弘前に暮らす者としての自覚を持ち、今後ますます弘前についての歴史の知識を深め、昔と現在が共存できるような素敵な社会づくりに貢献したい。
- 弘大祭の委員として、より地域へシフトした大学祭の運営に向けて動いており、講義で学んだことを生かそうとしている。
- 子供たちに地域の芸術や文化への興味を持ってもらう活動をしていきたいです。
- 私は青森県外出身ですので、地域の方々とふれあう時に地域の方々により親しみを感じていただくために活かしたい。
- 私の場合は青森県の食生活についての授業だったので、青森県が今後どのような方向で食生活を変えていくのかに関心を持つことができたので、積極的にシンポジウムなどに参加していきたいと思う。
- 就職時の企業を選ぶ参考にしたい。
- 将来、県内での就職を考えているので、看護師として地域の会話を患者と楽しみたい。
- 将来は青森で教職の仕事をしように考えているので、この授業で習ったことを活かしてより多くの生徒に地元について深く興味を持ってもらいたいと思っています。
- 青森と日本、青森と世界のつながりを深め、世間にアピールするために活かしていきたい。
- 青森の行政の現状を把握して、今後青森県内の病院に就職することができたら、改善点などを行政の実情を踏まえながら提案し、よりよい病院づくりに貢献したい。
- 青森県で働くための前提知識としてさらに知識を深めたい。
- 青森県民として地域に貢献していきたい。
- 卒業研究では津軽の歴史に関することを題材にしようと思うので、授業で学んだ知識を今後の卒業研究に活かしていきたいと思えます。
- 地域の課題に直面した際、改善のための提案をまず行う。また、家族や友人との会話において、積極的にアドバイスや役立ちそうな知識の紹介をし、選択肢を増やす手助けをする。
- 地域志向科目を受けて、これまで青森県内に住んでいたにも関わらず自分が青森県の事をあまり理解していないことがわかった。この科目を履修することで青森の細部に着目するきっかけをつくり、青森県を歴史的な面、行政の面から今までとは違う見方で見るように心がけたい。
- 地元で就職するときに自分の持っている強みとして面接などで活用していきたい。
- 津軽地域での活動はもとより、まったく初めて訪れた地域でも活動をはじめるときにその地域の人々の考え方の基礎を形作っている常識や共通の概念などを理解するために役立てていきたい。
- 日本の地域の一つの情報として理解し、他の地域との関係も視野にいれ、現状の問題点を理解していきたい。それが一市民として地域に貢献するきっかけになると思う。